

★数学科の目標

<p>(数と式) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を養う。</p> <p>(図形) 基本的な平面図形について、観察、操作や実験を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法とを理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。</p> <p>(数量関係) 具体的に事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし、表現し考察する能力を養う。また、具体的な実験を通して、確率の考え方の基礎を養う。</p>

★評価の観点

<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学への関心・意欲・態度 授業態度、出席状況、提出物 ・ 数学的な見方や考え方 定期テスト ・ 数学的な技能 定期テスト ・ 数量や図形などについての知識・理解 定期テスト

★一年間の学習

月	学習すること	学習のねらい
4	1 式の計算 1 式の計算 2 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多項式と単項式の加減、多項式と数の乗除、単項式と単項式の乗除の計算ができるようにする。 ・ 数量の関係や性質を、文字式を使って説明することができるようにする。 ・ 等式を変形することができるようにする。
5	2 連立方程式 1 連立方程式 2 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連立方程式を加減法や代入法を使って解くことができるようにする。 ・ 連立方程式を利用して、いろいろな問題を解くことができるようにする。
6		
7	3 一次関数 1 一次関数とグラフ 2 一次関数と方程式 3 一次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身のまわりの2つの数量の関係を、変化や対応に着目し、一次関数の関係を見いだすことができるようにする。 ・ 一次関数の関係を式に表したり、変化の割合を求めることができるようにする。 ・ 連立方程式の解をグラフをかいて求めることができるようにする。
9		
10		
11	4 図形の調べ方 1 平行と合同 2 証明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多角形の内角の和や外角の和を求めることができるようにする。 ・ 平行線の性質を利用して、角の大きさを求めたり、図形の性質を証明することができるようにする。 ・ 三角形の合同条件を利用して、図形のいろいろな性質を証明することができるようにする。
12		
1	5 図形の性質と証明 1 三角形 2 四角形	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二等辺三角形の性質を利用して、図形のいろいろな性質について考える。 ・ 直角三角形の合同条件を用いて、図形の性質を証明することができるようにする。 ・ 平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を利用して、図形のいろいろな性質について考える。 ・ 面積を変えないで図形の形を変えることができるようにする。
2		
3	6 確率 1 確率の意味 2 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身のまわりにある確率の例について考える。 ・ 起こりうるすべての場合について調べられるようにする。

☆学習の仕方

<p>○授業では新しいことを学びます。授業に集中し、しっかり学びましょう。</p> <p>○家庭では、授業で学習したことを定着させるため復習を中心に行ない、しっかり定着させましょう。</p>
